ヒノキ科 スギ属

スギ（杉）

Cryptomeria japonica (L.f.) D.Don

自生環境

山林

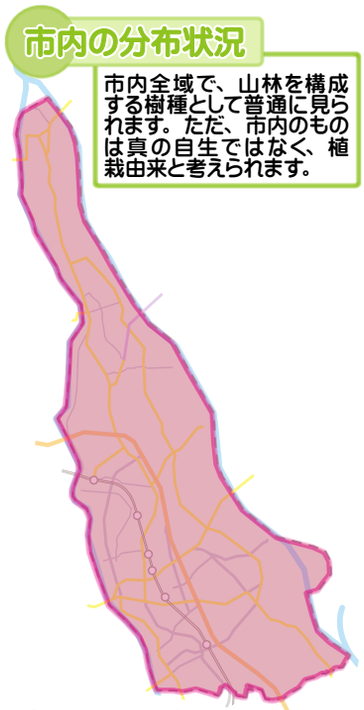
原 産 地

日本在来

生育を脅かす要因

市内のものの大半は植栽由来、つまり国内外来種としての性格が強いものです。生物多様性の観点からの保全は不要ですが、巨木は地域のシンボルとして大切にしたいですね。

市内の分布状況



市内全域で、山林を構成する樹種として普通に見られます。ただ、市内のものは真の自生ではなく、植栽由来と考えられます。

特　徴

- 日本固有種で、本州から九州、そして屋久島にかけての山地の沢沿いに自生しています。また材木用の樹種として重要であるため、各地の山々に人工的に植えられています。
- 常緑の針葉樹で、幹はまっすぐに伸びて樹高は 50m にもなります。２～４月頃にいっせいに開花し、風媒花であるため大量の花粉を空中に撒き散らします。そのため春の花粉症の最大の原因植物になっています。
- スギは古来マキ（真の木の意味）と呼ばれていました。現代ではマキというとイヌマキ（マキ科）のことを指します。スギの名前は、まっすぐと立つ姿からきていると考えられており、直木（スキ）、すくすくと立つ木などいくつかの説があります。

スギの果実？

スギの枝先を見ると、いがいがとした丸い「実」がついていることがあります。この実は、成熟するとうろこ状の部分が開いて、そのすき間から種子がこぼれ落ちていきます。しかしスギは裸子植物なので、花に子房はなく、子房が成長してできる果実に相当するものは存在しません。この「実」のようなものは果実ではなく、正式には球果と呼ばれる「松かさ」のようなものです。

わぴちゃんねる　千葉県野田市の植物を動画で紹介！

https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBJegnWATWd-UZsNzCA